

事業名	ことぶきマスター制度推進費			調書番号	49
細事業名	ことぶきマスター制度推進費	財務コード	169402		
担当部課室	福祉保健 部 健康長寿推進 課 地域包括ケア推進 担当 (内線)			3117	

I 事業の概要

実施期間	始期 S56 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	直営(県)						
目的	<table border="1"> <tr> <th>だれ(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>優れた知識や技能、生活の知恵等を有する60歳以上の個人またはグループ</td> <td>ことぶきマスターに認定され、人材バンクへ登録されることで、知識や技能などを活かす機会が増えている。</td> <td>高齢者の生きがいづくりや社会活動の促進</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	優れた知識や技能、生活の知恵等を有する60歳以上の個人またはグループ	ことぶきマスターに認定され、人材バンクへ登録されることで、知識や技能などを活かす機会が増えている。	高齢者の生きがいづくりや社会活動の促進
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
優れた知識や技能、生活の知恵等を有する60歳以上の個人またはグループ	ことぶきマスターに認定され、人材バンクへ登録されることで、知識や技能などを活かす機会が増えている。	高齢者の生きがいづくりや社会活動の促進					
内容	<p>○事業概要 長い人生経験から培った知識や技能、生活の知恵等をもった60歳以上の個人またはグループを「ことぶきマスター」として知事が認定し、証書及びバッジを交付するとともに、山梨県社会福祉協議会の運営する「ことぶきマスター人材バンク」へ登録することにより、高齢者が知識や技能、生活の知恵を披露する場所を提供し、高齢者の生きがいを高め、積極的な社会活動を促進する。</p> <p>○事業内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ことぶきマスターの認定及び証書、バッジの交付 証書バッジ交付式の実施 活動手引書の作成及び配布 ことぶきマスターの制度の周知 						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	ことぶきマスター認定者数	目標	136人	136人	136人	136人	136人	136人
		実績(見込)	138人	138人	145人	136人	122人	122人
		達成率	101.4%	101.4%	106.6%	100.0%	89.7%	89.7%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	ことぶきマスター派遣実人数	目標	35人	35人	35人	35人	35人	35人
		実績(見込)	34人	31人	41人	32人	35人	35人
		達成率	119%	88.6%	117.1%	91.4%	100.0%	100.0%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		222	189	212	197	224	225	225

III 事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	H28年度ことぶきマスター派遣実人数は、目標値である35人に対し35人であり、意図した成果を上げているといえる。また、直近の5年間の派遣人数は安定しており、恒常的なニーズを獲得できている点で評価できる。
成果指標	b		

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	なるべく多くのことぶきマスターが活動の機会を得られるよう活動の場を増やす余地がある。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	実稼働人数や活動先が一部固定化してしまっているため、新たな活動が期待できる児童施設等への周知を強化し、より積極的に広報活動を行っていくとともに、県主催のイベント等への派遣の機会を提供するなど活動の場を創出していく必要がある。		

V 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法の変更	説明	ことぶきマスターの新たな活動が期待できる福祉施設や学校・放課後子どもクラブ等への周知を強化し、より積極的に活用を促進するとともに、県主催のイベント等への派遣の機会を提供するなど活動の場を創出していく。
---------	----	--

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがなければ「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。